

[ア]

アカメガシワ(赤芽櫛) トウダイグサ科のアカメガシワの樹皮を基原とする生薬で、胃粘膜保護作用が期待される。

亜急性脊髄視神経症 (あきゅうせいせきずいしんけいしょう) 「スモン」の項を参照

悪性黒色腫 (あくせいこくしょくしゅ) 皮膚癌の一種で、メラニン産生細胞(メラノサイト)由来の悪性腫瘍である。

アクネ菌 「にきび桿菌」の項を参照

アクリノール 黄色の色素で、一般細菌類の一部(連鎖球菌、黄色ブドウ球菌などの化膿菌)に対する殺菌消毒作用を示すが、真菌、結核菌、ウイルスに対しては効果がない。①外用薬のほか、②患部からの細菌感染を防止することを目的として口内炎用薬、③細菌感染による下痢の症状を鎮めることを目的として止瀉に配合される。

アシドフィルス菌 生菌成分で、腸内細菌のバランスを整えることを目的として整腸薬に配合される。

アスコルビン酸 **アスコルビン酸**

カルシウム **アスコルビン酸ナトリウム** ビタミンC成分。「ビタミンC」の項を参照

アスパラギン酸カリウム アミノ酸成分で、新陳代謝を促し、目の疲れを改善する効果を期待して眼科用薬に配合される。

アスパラギン酸ナトリウム アミノ酸成分で、アスパラギン酸が生体におけるエネルギーの産生効率を高めるとされ、骨格筋の疲労の原因となる乳酸の分解を促す等の働きを期待して滋養強壮保健薬に配合される。

アスパラギン酸マグネシウム 「アスパラギン酸カリウム」の項と同じ。

アスピリン サリチル酸系解熱鎮痛成分で、アセチルサリチル酸ともよばれる。他の解熱鎮痛成分に比較して胃腸障害を起こしやすく、アスピリンアルミニウム等として胃粘膜への悪影響の軽減を図っている製品もある。かぜ薬、解熱鎮痛薬に配合される。

アスピリンアルミニウム 「アスピリン」の項を参照

アズレンスルホン酸ナトリウム 組織修復成分・胃粘膜保護修復成分で、水溶性アズレンともよばれる。①炎症を生じた粘膜組織の修復を促す作用を期待して口腔咽喉薬・含嗽薬に、②胃粘液の分泌を促す、胃粘膜を覆っ

アレルギーに対する過敏反応に起因して引き起こされる鼻粘膜の炎症をいう。花粉をアレルギーとするものは、花粉症とよばれる。

アレルギー用点眼薬（…ようてんがんやく）花粉、ハウスダスト等のアレルギーによる目のアレルギー症状（流涙、目の痒み、結膜充血等）の緩和を目的とし、抗ヒスタミン成分や抗アレルギー成分が配合されているものである。

アレルギー 免疫反応を過剰に引き起こし、アレルギーの原因物質となるものをいう。卵、牛乳、ハウスダスト、スギ花粉の他、医薬品の有効成分や添加物についてもアレルギーとなり得る。

アロエ ユリ科のケープアロエ等の葉から得た液汁を乾燥したものを基原とする生薬で、センノシドに類似の物質を含み、大腸刺激による瀉下作用が期待される。

暗示的（あんじてき）広告規制において、写真、図画等による影響に関連したものをいうが、文面、表現の抑揚等によるものも含まれる。

安全性速報（あんぜんせいそくほう）医薬品又は医療機器について一般的な使用上の注意の改訂情報よりも迅速な注意喚起や適正使用のための対応の注意喚

起が必要な状況にある場合に、厚生労働省からの命令、指示、製造販売業者の自主決定等に基づいて作成される。総合機構による医薬品医療機器情報配信サービスによる配信、製造販売業者から医療機関や薬局等への直接の配布、ダイレクトメール、ファクシミリ、電子メール等による情報提供（1か月以内）等により情報伝達されるものである。A4サイズの青色地の印刷物で、ブルーレターともよばれる。

安息香酸ナトリウムカフェイン（あんそくこうさん…）①解熱鎮痛成分の鎮痛作用を補助する——かぜ薬 ②解熱鎮痛成分の鎮痛作用を増強し、また、中枢神経系を刺激して頭をすっきりさせたり、疲労感・倦怠感を和らげる——解熱鎮痛薬 ③脳に軽い興奮状態を引き起こし、一時的に眠気や倦怠感を抑える——眠気防止薬、という効果を期待して各々の医薬品に配合される。

安中散（あんちゅうさん）体力中等度以下で腹部筋肉が弛緩する傾向にあり、胃痛又は腹痛があって、ときに胸やけや、げっぷ、食欲不振、吐きけなどを伴うものの神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱に適するとされる。まれに重篤な副作用とし

Q10ともよばれる。摂取された栄養素からエネルギーが産生される際にビタミンB群とともに働く。心筋の酸素利用効率を高めて収縮力を高めることによって血液循環の改善効果を示すとされ、軽度な心疾患により日常生活の身体活動を少し越えたときに起こる動悸、息切れ、むくみの症状に用いられる。

【ヨ】

ヨウ化カリウム 殺菌消毒成分で、口腔内や喉に付着した細菌等の微生物を死滅させたり、その増殖を抑えることを目的として口腔咽喉薬・含嗽薬に配合される。

葉酸（ようさん） ビタミンB9のこと。体内で還元代謝され、補酵素として働く。核酸代謝やアミノ酸代謝に関係し、これが欠乏すると貧血の症状が現れる。貧血を改善するため貧血用薬に配合される。

幼児 使用上の注意等において、7歳未満をいう。

要指導医薬品 次の①から④までに掲げる医薬品（専ら動物のために使用されることが目的とされているものを除く）のうち、

その効能及び効果において人体に対する作用が著しくないものであって、薬剤師その他の医薬関係者から提供された情報に基づく需要者の選択により使用されることが目的とされているものであり、かつ、その適正な使用のために薬剤師の対面による情報の提供及び薬学的知見に基づく指導が行われることが必要なものとして、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて指定するものをいう。①新医薬品であって、その承認を受けてから所定の期間を経過しないもの ②おっかけ新医薬品（新医薬品と有効成分、分量、用法、用量、効能、効果等が同一性を有すると認められた医薬品）であって、その承認を受けてから所定の期間を経過しないもの ③毒薬 ④劇薬

要指導医薬品陳列区画 要指導医薬品を陳列する陳列設備から1.2メートル以内の範囲をいう。

溶性ピロリン酸第二鉄（ようせい…さんだいてつ） 不足した鉄分を補充することを目的として貧血用薬に配合される。

ヨウ素 その酸化作用により、結核菌を含む一般細菌類、真菌類、ウイルスに対して殺菌消毒作用を示す。口腔内や喉に付着した細菌等の微生物を死滅させたり、その増殖を抑えることを

- と、LD50の値が小さいほど毒性が強いといえる。
- LDL** Low-density Lipoprotein の略。「低密度リポタンパク質」の項を参照
- LDL コレステロール** 低密度リポタンパク質 (LDL) に含まれるコレステロールのことで、「悪玉コレステロール」ともよばれる。
- NSAIDs** Non-Steroidal Anti-Inflammatory Drugs の略。「非ステロイド性抗炎症成分」の項を参照
- OTC** Over The Counter (オーバー・ザ・カウンター) の略。英国等では処方箋がなくても購入できる医薬品について、購入しようとする者の手の届かない場所 (カウンターの内側) に置かれるものを意味し、カウンター越しにやりとりされることに由来する。一方、米国では店先 (カウンターの外側) に置かれる医薬品を意味する。日本では、処方箋がなくても購入できる医薬品を意味し、通常、一般用医薬品のことをいう。
- PBO** Piperonyl Butoxide の略。「ピペニルブトキシド」の項を参照
- POP** Point of Purchase の略。購買時点広告と訳される。小売店に設置されているポスター、ステッカー、ディスプレイなどによる店頭・店内広告をいう。
- QOL** Quality of Life の略。「クオリティー・オブ・ライフ」の項を参照
- SJS** Stevens-Johnson Syndrome の略。「皮膚粘膜眼症候群」の項を参照
- TEN** Toxic Epidermal Necrolysis の略。「中毒性表皮壊死融解症」の項を参照
- WHO** World Health Organization の略。世界保健機関。国際連合の専門機関の一つで、1948年に設立され、保健事業の指導、衛生条約の提案、情報・援助の交換等を行う。
- WHO 国際医薬品モニタリング制度** WHO 加盟各国を中心に、各国自らが医薬品の副作用情報を収集・評価する体制をいい、1968年に確立された。